

SDGs と農業・農村

岐阜県農政課



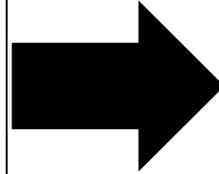
SDGsと農業・農村

○農業・農村の持つ多面的機能はSDGsで取り組む様々な課題に有効

農業・農村の多面的機能

- ・食料の供給
- ・豊かな生態系
- ・水源涵養
- ・気候緩和・二酸化炭素の排出抑制
- ・水田の洪水防止機能
- ・豊かな農村文化

有効



SDGsで取り組む様々な課題

- ・飢餓対策
- ・環境問題への対応
- ・地球温暖化の防止
- ・頻発する災害への対応
- ・雇用の確保
- ・文化の継承

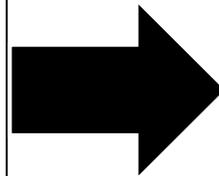
SDGs と農業・農村

- 社会や環境が抱える問題は、安定的な農業を脅かすもの
- 未来の農業・農村を守るためにもみんなでSDGsに取り組むことが必要

将来的に懸念される問題

- ・地球温暖化
- ・豪雨・渇水の多発
- ・生物多様性の崩壊
- ・土壌・水質の汚染
- ・地力の低下

拡大



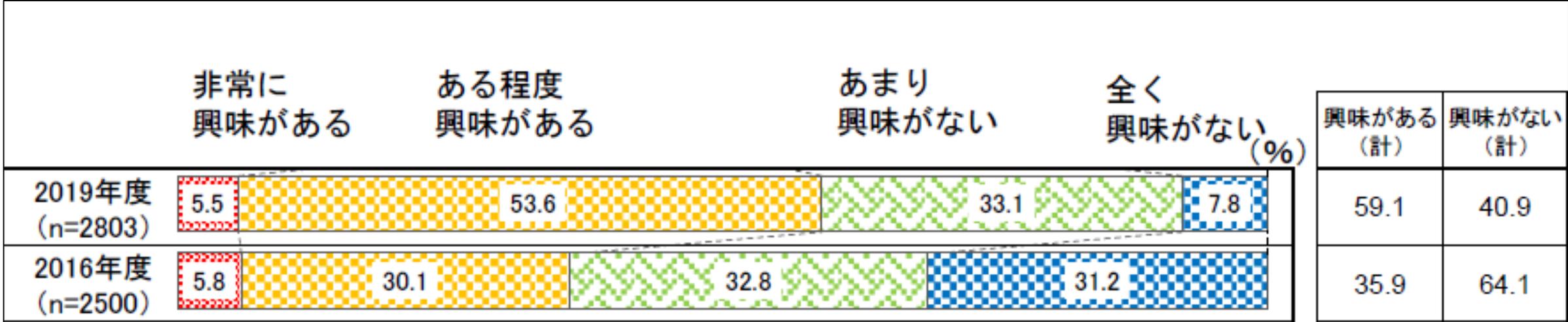
農業への影響

- ・品質・収量の低下
- ・病害虫の多発
- ・栽培不適地化
- ・担い手不足・農村の荒廃
- ・遊休農地の増加

SDGs と農業・農村

○エシカル消費に対して社会の関心は高まりつつある

「エシカル消費に興味がある」 35.9% (2016年度) ➔ 59.1% (2019年度)



出典：消費者庁「倫理的消費（エシカル消費）」に関する消費者意識調査報告書

○県の農業行政においてもSDGs の理念を踏まえた農業・農村づくりを推進

ぎふ農業・農村基本計画（R3～R7）

○目指すべき将来像の1つに明記

（抜粋）

新型コロナを契機に高まる「地産地消」や「田園回帰」などの潮流やSDGsの理念を踏まえた農業・農村づくりを推進する

○21の重点施策ごとにゴールを設定

(1)ぎふ農業・農村を支える人材育成

③本格的な人口減少下でのスマート農業の全県展開

現状と課題



- 平成31年3月、全国に先駆けて「岐阜県スマート農業推進計画（R1～R5）」を策定しました。また、同年8月には関係者を一堂に集めた「スマート農業サミットinぎふ」を開催し、スマート農業の推進に力強く踏み出しました。
- さらに、令和2年6月には、「実際に見て、体験して、学んで、便利さを実感できる」推進拠点として、海津市に「スマート農業推進センター」を開所し、技術力向上研修会の開催による人材育成や県内各地の実証農場で集めたビッグデータの解析などに取り組んでいます。
- スマート農業技術は急速に発展しており、最新情報を集約し、適時適切に農業者に提供するとともに、導入を可能とする基盤整備を進める必要があります。
また、地理的条件や品目など地域ニーズに応じた技術について、農業者が十分に実感した上で導入する必要があります。
- 新型コロナなどの有事の際に地域全体で急激な労働力不足に陥ったとしても、持続的に営農を継続できるよう、中山間地域を含めた様々な地域・品目において省力化・効率化、軽労化・技術の標準化を進める必要があります。



ゴール2 飢餓をゼロに

ゴール

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

主なターゲット（抜粋）

- ・土地、その他の生産資源などへのアクセス確保等を通じて、小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる
- ・生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や洪水等の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する

主な取組内容

- ぎふ清流GAP評価制度の推進
- スマート農業や基盤整備などによる生産性の向上
- 家畜伝染病や災害などのリスクへの対応 ※生産振興に資する施策は全て関与



ゴール4 質の高い教育をみんなに

ゴール

○すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

主なターゲット（抜粋）

- ・技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる
- ・教育におけるジェンダー格差をなくし、障害者、子どもなど、あらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする

主な取組内容

- 就農研修拠点の拡大や技術・経営面の伴走支援による新規就農者の経営力の強化
- 農業大学校、国際園芸アカデミー等における若者や多様な人材の技術習得の支援



ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう

ゴール

○ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

主なターゲット（抜粋）

- ・あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する
- ・世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する
- ・女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する

主な取組内容

- 経営管理能力の向上や家族経営協定締結の拡大等による女性の経営参画の推進
- 女性リーダーの育成による農業委員やJA役員等の登用拡大の推進



ゴール8 働きがいも経済成長も

ゴール

○包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する

主なターゲット（抜粋）

- ・高付加価値化セクターや労働集約型セクターに重点を置くなどにより、多様化、技術向上等を通じた高いレベルの経済生産性を達成する
- ・若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事等を達成する。
- ・雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進する政策を実施する

主な取組内容

- 輸出拡大や大都市圏への販路開拓などによる県産農産物のブランド展開
- 障がい者が農業現場で働きやすい環境整備の支援



ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう

ゴール

○強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

主なターゲット（抜粋）

- ・包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を増加させる
- ・資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる
- ・イノベーションを促進させることや、官民研究開発の支出を拡大させるなど、科学研究を促進し技術能力を向上させる

主な取組内容

○データ活用型農業の加速化、センシング技術を活用した生育管理、スマート農業やスマート養魚の導入支援などによる農業分野のDXの推進



ゴール11 住み続けられるまちづくりを

ゴール

○包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する

主なターゲット（抜粋）

- ・世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する
- ・水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、直接的経済損失を大幅に減らす
- ・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する

主な取組内容

- 農業用ため池の調査・改修や防災行動計画の作成などによる地域防災力の強化
- 農村ワーケーションや棚田地域の振興による都市・農村交流の促進



ゴール12 つくる責任 つかう責任

ゴール

○持続可能な生産消費形態を確保する

主なターゲット（抜粋）

- ・小売・消費レベルにおける一人当たりの食料廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる
- ・廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を削減する
- ・持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする

主な取組内容

- 地域ぐるみで取り組む地産地消県民運動の展開
- 規格外農産物を含む地域資源を活用した6次産業化の推進



ゴール13 気候変動に具体的な対策を

ゴール

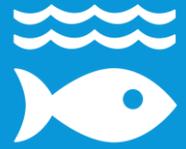
○気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

主なターゲット（抜粋）

- ・気候関連災害や自然災害に対する強靱性及び適応力を強化する
- ・気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む
- ・気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する

主な取組内容

- 高温下でも安定栽培できる新品種の育成や新技術の開発及び普及
- 災害時に備えた地方卸売市場等における事業継続計画の策定支援



ゴール14 海の豊かさを守ろう

ゴール

○持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

主なターゲット（抜粋）

- ・海洋堆積物や富栄養化を含む、陸上活動による汚染など、海洋汚染を防止し、大幅に削減する
- ・水産資源を再短期間で各資源の生物学的特性によって定められる最大持続生産量のレベルまで回復させるため、科学的な管理計画を実施する

主な取組内容

- 家畜排せつ物処理施設の整備の支援及び堆肥の有効活用の推進
- 鮎の増殖のための人工ふ化放流の推進



ゴール15 陸の豊かさも守ろう

ゴール

○陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

主なターゲット（抜粋）

- ・陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する
- ・生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う
- ・生態系と生物多様性の価値を、国や地方の計画策定、開発プロセス及び貧困削減のための戦略に組み込む

主な取組内容

- 世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承の推進
- 遊休農地発生防止に向けた鳥獣被害対策や地域住民による農地・環境保全活動の支援



ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう

ゴール

○持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

主なターゲット（抜粋）

- ・持続可能な開発のための政策の一貫性を強化する
- ・さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する

主な取組内容

○農業者、市町村、農業関係団体との連携による各種施策の推進

S D G s に取り組み、そして発信を！！